

名神湾岸連絡線のルート計画案手交式を行いました

- 名神湾岸連絡線は、名神高速道路と阪神高速道路5号湾岸線を連絡することにより、「渋滞の緩和」、「災害時等に強い道路ネットワークの確保」、「沿道環境の改善」、「交通安全の確保」、「物流の活性化」を図る道路です。
- 3月25日に「名神湾岸連絡線 ルート計画案 手交式」を開催し、国がこれまで調査した結果を手交しました。
- 今後、調査結果を参考に、都市計画決定手続きに着手することになります。

手交式の様子



- 名神湾岸連絡線 ルート計画案手交式
- 【日時】平成31年3月25日(月) 14:00~14:30
- 【場所】ラッセホール地下1階 パンジー
- 【出席者】国土交通省 近畿地方整備局 道路部長
兵庫県 県土整備部長
西宮市 都市局長



近畿地方整備局
橋本部長の挨拶

名神湾岸連絡線は阪高神戸線・国道43号の渋滞解消、沿道環境の改善、災害時の代替路機能等、様々な機能を有する極めて重要な道路である。
少しでも早く都市計画手続きを進めることを願います。



兵庫県
濱部長の挨拶

都市計画決定手続きをスムーズに進め、早期の事業化に結びつけたい。本日から全力で取り組みたいと考えている。まずは、西宮市と連携し、地元住民の意見を聞きながら、都市計画案を作成する。

